

ISSN 1348-6624

2003年5月

# 上武大学看護学研究所紀要

Bulletin of Research Institute of Nursing and Medicare Management, Jobu University

---

第1巻 第1号

---

上武大学看護学研究所

Research Institute of Nursing and Medicare Management, Jobu University

# 目 次

## [原 著 論 文]

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児を持つ親の子どもの健康管理の状況<br/>および認識について 第1報</li> </ul>                        | 金泉志保美<br>依田 裕子<br>大野 絢子                   | 佐光 恵子……1<br>中下 富子                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児を持つ親の子どもの健康管理の状況<br/>および認識について 第2報<br/>～ A幼稚園およびB保育園の比較 ～</li> </ul> | 金泉志保美<br>依田 裕子<br>大野 絢子                   | 佐光 恵子……17<br>中下 富子                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児期の子育てに関する調査<br/>～ 母親の育児不安との関連 ～</li> </ul>                          | 金泉志保美<br>中下 富子<br>長岡 理恵<br>小林亜由美<br>佐藤 由美 | 佐光 恵子……35<br>沼田 加代<br>矢島まさえ<br>依田 裕子<br>大野 絢子   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 慢性疾患児の健康管理における<br/>小学校養護教諭のかかわりについて</li> </ul>                         | 金泉志保美<br>依田 裕子<br>大野 絢子                   | 佐光 恵子……51<br>中下 富子                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知的障害児の長期休業における健康づくり<br/>～ 長期休業中の生活日誌をもとにして ～</li> </ul>                | 中下 富子<br>佐光 恵子<br>依田 裕子<br>山西 哲郎          | 横尾 尚史……61<br>金泉志保美<br>大野 絢子                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女子高校生の月経に関する研究<br/>～ 月経周期に伴う愁訴と性アイデンティティとの関連 ～</li> </ul>              | 柳原真知子……………79                              |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白血病患者の看護問題の抽出方法<br/>～ 関連図からみた看護問題 ～</li> </ul>                         | 秋山 美加……………87                              |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 術前不安尺度作成の試み</li> </ul>   | 宮林 幸江<br>安田 仁……………99                      |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神障害者の日常生活適応レベルアセスメント票の<br/>開発に関する研究</li> </ul>                        | 依田 裕子<br>大野 絢子 ……111                      |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口過疎地域住民の精神障害者支援に対する<br/>意識とこれからの課題</li> </ul>                         | 矢島まさえ<br>佐光 恵子<br>依田 裕子<br>小林 和成<br>小林亜由美 | 梅林 奎子 ……119<br>中下 富子<br>金泉志保美<br>秋山 美加<br>大野 絢子 |

- ・在宅看護・介護技術研修プログラムの開発 第1報  
～ 在宅看護・介護技術の確定 ～

大野 絢子 矢島まさえ …131  
小林亜由美 長岡 理恵  
沼田 加代 中下 富子  
金泉志保美 依田 裕子  
秋山 美加 佐藤 由美  
佐光 恵子

- ・在宅看護・介護技術研修プログラムの開発 第2報  
～ 研修会の実施と評価 ～

秋山 美加 佐光 恵子 …137  
矢島まさえ 依田 裕子  
小林亜由美 長岡 理恵  
沼田 加代 中下 富子  
金泉志保美 佐藤 由美  
藍原 雅一 大野 絢子

- ・介護保険法による在宅ケア体制と市町村の課題

大野 絢子 佐藤 由美 …145  
長岡 理恵 沼田 加代  
矢島まさえ 小林亜由美  
秋山 美加 小林 和成  
依田 裕子 佐光 恵子

- ・介護保険制度開始後の神経系難病療養者の  
在宅サービスの利用実態と保健所保健師の役割 第1報

依田 裕子 秋山 美加 …169  
牛込三和子

- ・介護保険制度開始後の神経系難病療養者の  
在宅サービスの利用実態と保健所保健師の役割 第2報  
～ 筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、  
パーキンソン病3疾患療養者への支援 ～

依田 裕子 秋山 美加 …185  
牛込三和子

〔 研 究 報 告 〕

・ 小学校での「食を通して行う健康教育」の進め方 第1報 ～ 学級活動と個別指導との関連を図った実践活動を通して ～	佐光 恵子 中下 富子	小金澤みち子 …197
・ 小学校での「食を通して行う健康教育」の進め方 第2報 ～ 組織活動と連動を図った指導プランの作成と その実践活動を通して ～	佐光 恵子 市川真知子	小金澤みち子 …205 中下 富子
・ 看護師のアセスメントによる視覚データの情報化過程 ～ 色データの情報化の特徴 ～	小池 潤	安藤 満代 …213
・ 群馬県内一地区における地域住民のペット飼育の実態と アレルギー症状との関連	宮崎有紀子 星野 泰栄 大野 絢子	佐藤久美子 …221 秋山 美加
・ 死別の悲嘆回復への介入 第1報 ～ 悲嘆回復ワークショップから 悲嘆の実態・死別後の変化について ～	宮林 幸江	……………229
上武大学看護学研究所紀要投稿規定		……………237

# 上武大学看護学研究所紀要投稿規定

## 1. 投稿者の資格

投稿者は上武大学看護学研究所研究員とする。但し、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではない。

## 2. 原稿の種類

1) 原稿の種類は、総説、原著論文、研究報告、その他であり、それぞれの内容は下記のとおりである。

【総 説】看護学に関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。

【原著論文】研究論文のうち、研究そのものが独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されており、看護学の知識として意義が明らかであるもの。

【研究報告】内容的に原著論文には及ばないが、研究結果の意義が大きく、看護学の発展に寄与すると認められるもの。

【そ の 他】看護学あるいは看護学の研究に関する見解等で、編集委員会が適当と認めたもの。

2) 投稿論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）に既に発表あるいは投稿されていないものに限る。重複投稿は禁止する。

## 3. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されていること。

## 4. 投稿手続

1) 投稿原稿は7部（うち6部は複写でもよい）を送付する。

2) 最終原稿提出時には、本文をテキストファイルで保存したフロッピーディスクを添付する。

3) 原稿は封筒の表に「上武大学看護学研究所紀要原稿」と朱書し、下記に書留郵送する。

〒370-1393 群馬県多野郡新町270-1

上武大学看護学研究所事務局

## 5. 原稿の受付および採否

1) 上記4の手続を経た原稿の到着日を受付日とする。（受付日と到着順に付す受付番号とを、投稿者に通知する）

2) 原稿の採否は査読を経て編集委員会が決定する。

3) 編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。

## 6. 投稿された論文は理由の如何を問わず返却しない。

## 7. 著者校正

査読を経て、編集委員会に受理された投稿原稿について、著者校正は1回行う。但し、校正の際の加筆は原則として認めない。

## 8. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は原則として、ワードプロセッサで作成する。
- 2) 原稿はA4版横書きで、1行の文字数を35字、1ページの行数を28行（約1,000字）とし、適切な行間をあける。
- 3) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて下記の枚数以内とする。これを超えるものについては受理しないことがある。

総 説	12枚以内（12,000字以内）
原著論文	16枚以内（16,000字以内）
研究報告	16枚以内（16,000字以内）
そ の 他	12枚以内（12,000字以内）
- 4) 外国語はカタカナで、外国人、日本語訳が定着していない学術用語などは原則として活字体の原綴で書く。
- 5) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等の通し番号をつけ、本文とは別に一括し本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。
- 6) 文献の記載方法は下記に従う。

(1) 文献については、本文中に著者名、発行年次を括弧表示する。

(2) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。但し、共著者は3名まで表記する。

### 【雑誌掲載論文】

- ・著者名（発行年次）：論文の表題、掲載雑誌名、号もしくは巻（号）、最初のページ数－最後のページ数

### 【単行本】

- ・著者名（発行年次）：書名（版数）、出版社名、発行地
- ・著者名（発行年次）：論文の表題、編者名、書名（版数）、ページ数、出版社名、発行地

### 【翻訳書】

- ・原著者名（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）：翻訳書の書名（版数）、出版社名、発行地

- 7) 原稿には表紙を付し、上半分には表題、英文表題（すべて大文字とする）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名、図、表および写真等の数を書き、キーワードを日本語・英語でそれぞれ3語程度記載する。下半分には赤字で希望する原稿の種類、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項および連絡者の住所氏名などを付記すること。
- 8) 抄録（Abstract）：和文400字、英文200word程度で記すこと。英文原稿の場合は、英文200word程度で記すこと。なお、5個以内のキーワード（key word）を記すこと。キーワードはMEDLINEデータベースのキーワード用語集「Mesh（Medical Subject Headings）」を参考とすること。

## 9. 著 作 権

著作権は本研究所に帰属する。「上武大学看護学研究所紀要」に掲載された原稿、その他の記事の全部、または一部をそのまま他の出版物等に掲載する場合には、定められた様式に基づく文書により、編集委員会の許可を得るとともに、当該の出版物等に「上武大学看護学研究所紀要」からの転載であることを明記すること。最終原稿提出時、編集委員会より提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに送付すること。

## 10. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲 載 料：原則として無料とする。ただし、超過分、カラー写真については実費を徴収する。  
また、その他特別に要した経費は実費を徴収する。
- 2) 別 刷 料：別刷は全て実費を著者負担とする。
- 3) そ の 他：図表等、印刷上、特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。

## 附 則

この規定は平成15年4月1日から施行する。

## 編集後記

今、ここに上武大学看護学研究所紀要第1号、創刊号の発刊にあたり大きな感慨を憶えます。平成16年4月の看護学部の誕生を前に看護学研究所が創設され、大野副学長のご指導と全面的なサポートをいただきながら、研究活動をすすめることができました。そして、その成果を発表できることの幸せをかみしめています。また私事ですが、編集を担当させていただき、日常業務では経験のできない様々な事柄をも学ぶ機会に恵まれました。決してひとりでは何事もできないこと、妥協は許されないこと、等々。感謝の一言に尽きます。ありがとうございました。

紀要とともに今後も、研究者として、教育者として、看護専門職として成長しつづけたいと、今、心を新たにしています。

上武大学看護学研究所紀要

第1巻 第1号

2003年5月15日 印刷

2003年5月20日 発行

発行人 大野 絢子

発行所 上武大学看護学研究所

〒370-1393 群馬県多野郡新町270-1

TEL 0274-42-2828

印刷 荒瀬印刷株式会社